

---

# 株式会社長坂養蜂場

## CSR活動事例集



★ はちみつのある暮らし ★  
長坂養蜂場



# 株式会社長坂養蜂場 CSR活動事例集



- 🔥 CSR 活動への思い
- 🔥 障がい者施設との取り組み
- 🔥 地域活性化への取り組み
- 🔥 商品開発における地域貢献
- 🔥 寄付・募金・震災復興支援
- 🔥 教室・実習・講演活動





## CSR活動への想い

～「創業の精神」と「クリキンディ精神」～

私たち長坂養蜂場では、【創業の精神／「感謝 報恩 三方よし」…（多くのものに支えられている「感謝」を忘れず、その恩に報いる「報恩」の精神、そして自分だけ自分達だけでなく、自分よし・相手よし・第三者よしの「三方よし」の道徳的精神）】を、昭和10年の創業以来、大切に商売をしてきました。また、【ぶんぶんファミリーの行動指針 25ヶ条 23／地域によって支えられている事を忘れず、クリキンディ精神を大切に、今自分に出来る事を尽くしましょう】という想いのもと、仕事や商品のなかで地道に社会貢献活動を続けてきました。

～ 自然や地域への恩返しと恩送り ～

養蜂を営む企業として、地域の大自然や様々な恵み、地域の色々な支えの中で生かされている、養蜂や商売させていただいている事への感謝を忘れずに、その恩に報いるために恩返し、恩送りの想いを大切に、自分たちに出来る事を続けていくよう心がけています。この地域に長坂養蜂場があっただけよかったと、地域の方から思っただけのような会社をこれからも少しずつ目指していきたいと思えます。

～障がい者の方と地域への想い～

CSR活動のなかで特に意識しているのは、静岡県出身で「日本で一番大切にしたい会社」の著者である坂本先生も仰っている「障がい者の方への支援」です。自分の子供だからでなく、健常者全員で障がい者の方たちを支えていく社会になっていくために、大きなことはできませんが自分たちに出来る事をコツコツとやっていきます。そしてもう一つは、地元三ヶ日地域への貢献です。「三方よし」の精神のもと、地域の生産者・お客様・会社の三方がよしとなる、持続可能な永続する三方よしのビジネスを理想としてこれからも取り組んでまいります。

私たち中小企業ができることから一歩ずつ、  
積極的にCSR活動を進め、発信すること。

…そこから想いの波紋が広がって、

他の企業にとって取り組みの参考の一助となったり、

少しでも多くの企業がCSR活動に前向きに取り組む気運が高まったり。

浜松市のCSR活動がさらに活発化し、やさしい気持ちが広がっていく

「ぬくもりある社会」につながっていくことを願って…。

これからも、「いま私たちに出来ること」を  
地道に尽くしていきたいと思えます。





## 障がい者施設との取り組み

### 【地域応「縁」コーナー】

→地域との「ご縁」を大切にしたいという思いから、店舗の一角に『地域応「縁」コーナー』を設置し、地域で頑張っている障害のある方の施設や団体の商品、地域の特産品などを常時販売しています。

### 設置商品／

- ◎NPO法人すだち 三ヶ日たちばな授産所 様
    - ・青みかんポン酢、遠州綿糸グッズ、茶豆、ゼロアートグッズ
  - ◎社会福祉法人 もくせい会 様
    - ・ぶんぶんストーンストラップ
  - ◎NPO法人六星 ウイズ半田 様
    - ・マグネットわんにゃんこ
- ※商品はすべて施設からの買取りで販売しています。

### 【地域応「縁」の取り組み】

→商品だけを設置して応援するだけでなく、様々な機会に触れ、共同での活動を企画、実施しています。

#### ◎NPO法人すだち 三ヶ日たちばな授産所 様

・夏祭りイベントではスタッフが施設へ出向き、施設の皆様に長坂養蜂場特製の三ヶ日みかんかき氷を振る舞いました。また、たちばな様主催のイベントには積極的に参加したり、商品だけでなくそれを作ってくださる利用者さんとの交流を深めています。

・スタッフが地域の伝統文化「猪鼻太鼓」を練習し、NPO法人すだち様設立10周年の記念イベントではオープニングで太鼓演奏を披露しました。

#### ◎社会福祉法人 もくせい会 様

・店舗でのイベント開催時に店頭の特設テントを設置し、共同でアクセサリ作りのイベントを開催しました。

#### ◎NPO法人六星 ウイズ半田 様

・通販をご利用のお客様や会員様に定期的にお届けしているDM(パンフ・カタログ)があります。ウイズ半田様に取材訪問し、DMにて記事として【ウイズ半田のこと、商品のこと、視覚障がいのこと】など商品の背景にある想いをまとめ、視覚障がいのことについて広く知ってもらうための発信を行いました。また、記事を店内でも配布・設置し、商品の背景にある障がいのある方への理解を深めていただくよう努めています。



地域応「縁」コーナー



三ヶ日たちばな授産所様にて  
・特製かき氷の出張プレゼント  
・イベント時には積極的にスタッフが参加



もくせい会様との共同イベント



ウイズ半田様を取材、DMにて特集記事掲載



NPO法人すだち様設立10周年記念イベントで猪鼻鬼面太鼓を披露





【障がい者施設への仕事提供】

→地元三ヶ日地域の障がい者施設「三ヶ日たちばな授産所」様を中心に、障がい者施設への仕事を継続的に発注させていただいています。

発注先一例／

◎NPO法人すだち 三ヶ日たちばな授産所 様

- ・資材類のセット作業（例：ダンボール組み立て等）
- ・商品詰め作業（例：はちみつスティックの袋入れ）
- ・同梱物のセット作業（例：パンフやチラシ等のセット）

◎社会福祉法人 もくせい会 様

- ・ぶんぶんストーンストラップの製造発注
- ・エアマット裁断作業

◎NPO法人六星 ウイズ半田 様

- ・マグネットわんにゃんこの製造発注
- ・点字名刺の発注

◎社会福祉法人南浜名湖会 ひまわり授産所 様

ノバ（商品に巻く破損防止用）の発注

※仕事に対するお支払いについて

取引先様として対等の関係で仕事を発注させていただいており、基本的に先方の見積もりで安ければ逆に高くしてもらうようお願いしております。内職仕事の発注の概念ではなく、社内で自分達でやったらいくらかかるのかを目安にしています。

【「三ヶ日たちばな授産所」様とのご縁～なくてはならない「パートナー」へ】

🔥「三ヶ日たちばな授産所」様とのご縁は、初代・長坂喜平の頃、今からおよそ50年近く前にさかのぼります。当時、初代・喜平が障がい者の皆さまとそのご家族に何か応援させて頂けたらという思いから、月に一度、寄付金とはちみつ飴を差し入れさせていただいていました。その後、長坂養蜂場の成長と共に、会社として仕事をお願いさせていただけるようになり、さらには「感謝報恩委員会」という委員会活動を通してスタッフ達とのかかわりも増え、現在に至っています。

🔥現在、三ヶ日たちばな授産所様には、全国通販にかかる資材や商品のセット作業などにおいて大部分を発注させていただいています。補完的に仕事をお願いしているのではなく、お客様のお手元に届くものを扱う大切な作業を担っていただいています。今では取引先様として、なくてはならない存在となっています。

🔥仕事を発注するだけでなく、よりパートナーへの理解を深めたいというスタッフの声から、三ヶ日たちばな授産所の施設長を社内にお招きし、社内講演も実現しました。施設のことや利用者さんのこと、障がいのことなど、さらに理解を深めることで愛着が一層高まり、よりよい関係作りに発展しています。



はちみつスティックを袋入れする様子



三ヶ日たちばな授産所施設長を招いての社内講演会

＜講演を受けてのスタッフの声＞

- 🔥今まで、障がいをもった方に対しての先入観がありました。平澤さんのお話を伺って考え方が変わりました。彼らが健常者の人たちと同じ想い…認知されたい、褒められたい…一緒なんだと知りました。
- 🔥お話を聞いて、私には何ができるんだろうと思いました。月に一度、お母様と一緒に障がいを持ったお嬢さまがお店にいらっしゃいます。人懐っこさに最初はびっくりしましたが、これからはもっとお嬢さまとも関わりたいなと思いました。
- 🔥私の息子は2歳の時に発達障害といわれ根洗学園に通っていました。一人ひとりの子を知り、その子に合った仕事や言葉を選び、見守り応援し続けている平澤さん始めスタッフの方、そういった施設がここ三ヶ日にあることを知って本当に嬉しく思い涙がでるほど安心しました。

【DM 大賞受賞時のエピソード】

日本郵便(株)主催『全日本 DM 大賞』(戦略性・クリエイティブ・実施効果において優れたダイレクトメールに与えられる賞)で金賞を受賞したDM(はがき)は、絵柄にミツバチ、白鳥、ウサギがあしらわれた切手をレイアウトしたものです。そして、この切手の貼り付け作業を担ってくださったのが「三ヶ日たちばな授産所」様の利用者の方々でした。受賞の一報が入ったときには三ヶ日たちばな授産所様へ駆けつけて、日々丁寧に貼り付けをしてくださったことへの感謝をお伝えしながら、ともに喜びを分かち合いました。





【障がい者施設との商品の共同開発】

◎三ヶ日たちばな授産所様

・自社のはちみつ飴を、障がい者施設の利用者さんが描かれた絵を使った オリジナル缶に入れて「BEE HAPPY 缶」として販売しています。毎回、缶の色も様々な色で登場し、お客様にもお楽しみいただいています。

・施設で在庫過剰になってしまった資材（茶豆に使っている箱）について相談を受け、施設長に社内プレゼンをしていただきました。それを受け、朝礼の時間などでスタッフ全員でアイデアを出し合いました。最終的に、自社のはちみつ飴を入れた冬季限定パッケージとして販売。商品も完売し、有効活用できました。

◎ワークホームハピネス様

・豊川市諏訪の就労継続支援 B 型事業所「ワークホームハピネス」さんと長坂養蜂場で、「やさしい気持ちのはちみつミルクジェラート」を共同開発しました。原材料には田原市の「どうまい牛乳」と長坂養蜂場の「二代目の蜂蜜」を使用。ミルクジェラートの上にたっぷりの純粋はちみつがかかった、今までにない新しいジェラートです。地場産品を使ったオリジナルジェラートの美味しさを楽しめるだけでなく、障害福祉施設の応援にもつながるジェラートです。

・ジェラートを通じて、ハピネス様、お客様、長坂養蜂場・「三方よし」の関係で、みんなのやさしい気持ちがあまた一歩、障害福祉施設の利用者さんの就労支援と自立につながっていくことを願って……。このジェラートにはそんな「やさしい気持ち」を込めています。

・販売開始直後の週末 2 日間で完売し、その後も順調な売れ行きを見せています。一人でも多くの方にこのジェラートを手にとっていただけることで、障がい者施設への理解や利用者さんたちの就労支援につながっていけるよう、今後も商品の背景にある作り手の想いを丁寧に発信していきます。

※すべての共同開発商品は、商品を開発するだけでなく、商品のセット作業などそれに関わる作業も仕事として発注させていただいています。

【～障がい者施設との商品の共同開発への想い～】

長坂養蜂場の商品を通じ、自社の利益だけでなく

- ・お客様、障がい者施設、長坂養蜂場の三方がよくなる「三方よし」となる商品づくり
  - ・障がいや障がい者施設への理解につなげ、やさしい世の中につながる商品づくり
- を目指して、これからも積極的に商品の共同開発を進めていきます。



スタッフ全員でアイデアを出し合い、施設で在庫過剰になった資材を有効活用した商品開発



「やさしい気持ちのはちみつミルクジェラート」が浜松情報に掲載されました



三ヶ日たちばな授産所様の利用者さんが描いた可愛い絵の缶に、はちみつ飴をつけて「BEE HAPPY 缶」として販売



現在はコラボ第 2 弾「やさしい気持ちのはちみつレモンシャーベット」も展開中





## 地域活性化への取り組み

### 【奥浜名湖周辺の地域清掃】

・毎月、水曜日の定休日を利用して「ぬくもりの日」という全員出勤の日があります。その日を利用して、月に一度の朝の時間で日頃お世話になっている地域の清掃活動をささやかながら続けさせていただいています。特に浜名湖畔沿いの道端にはゴミが多く、定期的な清掃の大切さを実感しています。

### 【地域の伝統文化を伝える取り組み】

・地元三ヶ日に伝わる「猪鼻鬼面太鼓」を指導してもらい、スタッフが練習を重ね、地域の様々なお祭りやイベントで披露。伝統文化の発信を続けています。

### 【地域のPR】

・店内入口や掲示板には自社のことだけでなく、三ヶ日地域のお店やイベントなどを積極的にPRしています。

・店舗に来られたお客様には「ぼっと新聞」、通販のお客様には「ぬくもりの花」というニュースレターを配布。お客様が地域の他店へ足を運んでいただけるよう、地域の施設やお店の紹介を載せています。実際に、これを見て足を運ばれるお客様も多いです。

### 【地域の名所保全活動】

・万葉集にも歌われたマンサクの花が咲くマンサクの群生地として知られる「乎那の峯」。近年は荒廃しかけており、名所復活に向けて、会社として定期的に清掃活動するなど保全に努めています。

### 【～地主さま・地元の皆様・お客様・・・みんなでつなぐ想い～】

#### 「三ヶ日のマンサク群落」名所復活へ・・・地元の皆様の思いと共に歩む保全活動

##### 🔥 今までの背景

山の持ち主である河西克典さまの父・凜衛さま（故人）が、「万葉の旅」を読まれ、万葉集にこの地が歌われていることを知り、万葉植物園整備を私財をかけて取り組んできました。その最中に、偶然マンサク群落を発見。数十年による地道な活動により三ヶ日の観光名所になり、駐車場やベンチも設置。一時期は地元婦人会によるさくら祭りも開かれました。

##### 🔥 私たちの取り組み

私たち長坂養蜂場では、ご来店いただくお客様からのお問い合わせや、地元の方の活動を知り、私たちもお手伝いができたらと思い、3年前からスタート。まずは地主さまである河西克典さまに講演にきていただき、「乎那の峯」への想いを知りました。そして、社内の地域貢献に取り組む委員会メンバーが中心となって定期的に山の掃除や草刈りに取り組んできました。

##### 🔥 これからの願い

以前に婦人会の方などにより行われたさくら祭りも、現在では諸事情で開催されていません。再びさくら祭りが開催されるような地元の盛り上がりや皆様に喜んでいただける場所になることを願って・・・これからも微力ながら活動を続けていき、地元の名所復活にお役立ちができればと思っています。今後もこの知られざる三ヶ日の名所「乎那の峯」の保全活動と発信を続けていきます。



奥浜名湖周辺の地域清掃では、毎回たくさんのゴミが集まります



三ヶ日地域の伝統文化「猪鼻鬼面太鼓」をスタッフが練習を重ね、地域のイベントで披露



「ぼっと新聞」と「ぬくもりの花」。地域のおすすめスポットや情報をお客様に伝え、地域のお店への来店を促しています



マンサク山保全活動の様子が静岡新聞に掲載されました



地主の河西様を招いてマンサク山への理解を深め、保全活動に取り組みました





【地域活性化のための地元神社との取り組み】

・地元の神社で飴をご祈禱いただき、お正月に「縁起飴」として販売、プレゼントをしました。あわせて神社についての紹介と地図をニュースレターにまとめ配布しました。これを見て多くのお客様が神社に参拝され、地域活性化に貢献できました。

◎私たちは、日頃ミツバチの恵みをいただき養蜂場を営んでいます。そこで、毎年3月8日に浜名惣社様より神主様をお招きして「ミツバチ供養祭」という神事を行っております。そんな長年のつながりから、「縁起の良い三ヶ日コラボ」の取り組みが生まれました。

◎今回、浜名惣社様に弊社の「はちみつとろり飴」というはちみつ飴をご祈禱いただき、その飴を縁起の良い飴「はちみつ縁起飴」として、お店でお買い上げされた会員様と通販で注文されたお客様にプレゼントしました。

◎また、プレゼントの際、「はちみつ縁起飴」とともに浜名惣社様を紹介したお手紙と一緒に渡して、浜名惣社様への初詣の参拝を促しました。また、より楽しんで参拝いただけるよう、「はちみつ縁起飴」は絵馬のパッケージになっており、願いごとを書いて神社に結んでいただけることを想定して企画しました。

◎地元の中小企業が自社商品に行事と地元神社様を絡めて行う取り組みから、地元神社への初詣参拝客増加へのお役立ち、商品の工夫からより楽しく地元神社を参拝できる仕掛けなど、ここ三ヶ日の活性化につながる地域貢献の一例としてチャレンジしています。

【私たち長坂養蜂場の想い】

- 🔥「はちみつ縁起飴」の取り組みから、地元神社への初詣の新しい楽しみ方の提案と、参拝客数増加へお役立ちできればと考えています。また、年始の三ヶ日地域の活性化につながればと思っています。
- 🔥浜名惣社様にご祈禱いただいた特別なこの飴を召し上がられた皆さまに健康が訪れ、縁起の良い年になることを願っております。今後も、毎年の恒例企画として継続していけると考えています。



静岡新聞、中日新聞にはちみつ縁起飴で地域活性化の記事が掲載されました



商品と合わせて、神社の紹介と行き方をお客様には配布し、参拝を促しました（昨年：初生衣神社様、今年：浜名惣社神明宮様）



【この企画から広がったつながりの輪】  
長坂養蜂場で縁起飴を手にしたお客様が実際に浜名惣社様に初詣にお越し下さいました。そして、この縁起飴に願い事を書いて絵馬として飾っていただく現象が次々と起き、お正月の三ヶ日に温かいつながりの輪が広がりました。







## 商品開発における地域貢献

### 【地域の伝統文化を伝える商品づくり】

→「新蜜の三ヶ日みかん蜂蜜と浜松注染そめ手ぬぐいギフト」

ここ三ヶ日でしか採れない貴重な「三ヶ日みかん蜂蜜」を昔ながらに瓶詰めして、オリジナル手ぬぐいで包んだギフトです。手ぬぐいは、郷土工芸品である「浜松注染そめ」による手ぬぐい製作を今も続けられている地元浜松の「武藤染工」さまと共同製作しました。職人技による注染そめでしか生み出せないゆらぎのある色合い・・・そんな価値ある地元の伝統技術も、後継者不足などの問題もあり、近年は衰退の一途をたどっています。この商品には、地元を誇るこの「浜松注染そめ」という伝統技術の価値をより多くの人に改めて伝えていきたいという想いも込めています。手ぬぐいは浴衣生産量日本一の浜松らしく、あえて浴衣生地を使用しています。

この商品は

- ・「グッドデザインしずおか 2016 奨励賞」
- ・「OMOTENASHI Selection 2017(おもてなしセレクション 2017)」を受賞しました。

### 【地元特産物の価値を高める商品づくり】

→「三ヶ日みかん青搾り」ジュース

地元の特産品である「三ヶ日みかん」。そのなかで、本来捨ててしまう早摘みした青みかん「摘果みかん」を使用し、「三ヶ日みかん青搾り」ジュースを開発しました。本来なら捨ててしまうみかんを有効活用することで、お客様、地域（三ヶ日みかん農家さん）、長坂養蜂場の「三方よし」につながる商品です。

### 【～地元企業、地元農家との商品の共同開発への想い～】

長坂養蜂場の商品を通じ、自社の利益だけでなく

- ・お客様、地域、長坂養蜂場の三方がよくなる「三方よし」となる商品づくり
  - ・その商品を通じて地域の価値の再発見や課題解決につながる商品づくり
- を目指して、商品を通じての地域貢献をこれからも積極的に進めていきます。

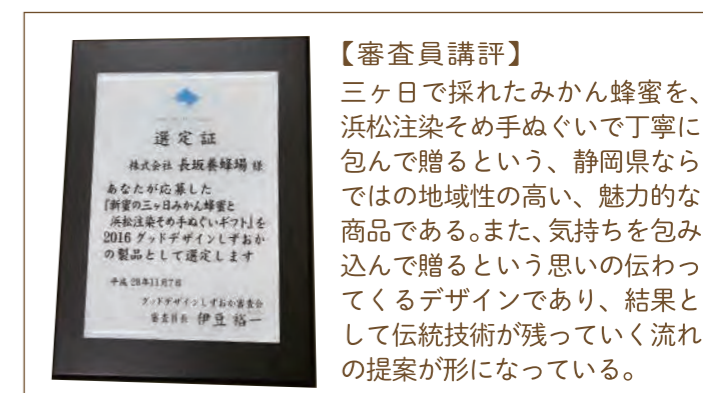


手ぬぐい製作先／武藤染工株式会社 様

昭和 36 年創業。創業当時は 100 社ほどあった注染工場も、今では武藤染工さんを含め 6 社のみ。今もなお、注染そめを作り続け、遠州地域の織物染色加工の振興に尽力されています。



「新蜜の三ヶ日みかん蜂蜜と浜松注染そめ手ぬぐいギフト」が静岡新聞に掲載されました



「グッドデザインしずおか 2016」奨励賞を受賞しました



三ヶ日みかん農家さんが、この時期みかんの木から間引いてしまう「摘果みかん」を有効活用した「三ヶ日みかん青搾りジュース」



遠く離れたお客様にも摘果みかんのことを知ってもらえるよう、通販をご利用のお客様の同梱物としても入れさせていただいています





## 寄付・募金・震災復興支援

### 【地域の障がい者施設への寄付】

・地元三ヶ日の障がい者施設が新たな多機能型生活介護施設を建設するにあたり、寄付(300万円)を行いました。

### 【チャイルド・スポンサー募金】

・「国際協力 NGO ワールド・ビジョン」の活動に参加しています。チャイルド・スポンサーとして世界の恵まれない子どもたちを一人でも多く、健やかに成長できるよう応援する活動です。モンゴル地区の一人の少女を、スタッフ全員で応援しており、毎月4500円で一人の子どもをサポートしています。

・サポート方法は社内の「ありがとうカード」を1枚5円からの有料として販売、それを毎月貯めて1か月4500円を集めています。(「ありがとうカード」とは、スタッフ間で伝えそびれたお礼や日頃の感謝の気持ちなどをそのカードに託してやりとりするメッセージカードです。)

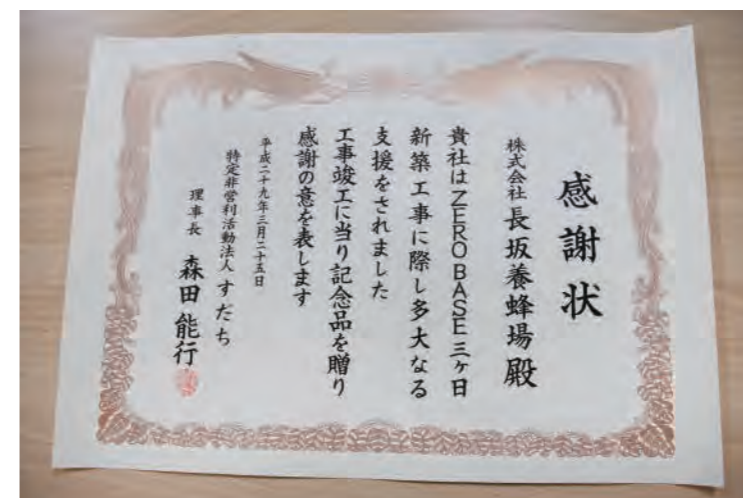
・朝礼では毎月10・20・30日を「感謝報恩の日」と定め、遠くモンゴルの少女にスタッフ全員で祈りの時間を設けています。

### 【書き損じハガキの寄付】

・お正月が明けた時期にスタッフ全員に呼びかけ、書き損じてしまったハガキを集めています。世界平和の実現に向けて活動されているNPO法人テラ・ルネッサンス様へ、集まった154枚のハガキを送らせて頂きました。約50㎡の地雷撤去ができるそうです。今後も身近にできる社会貢献から始めていきます。

### 【活動からのスタッフの変化】

🔥以前に比べ、スタッフ全員が今いる自分たちの小さな世界だけでなく、遠く世界の子どもたちの状況にも想いを馳せる機会が増えました。また、ありがとうカードと連動させることで、たくさんの「ありがとう」が集まり、一番近くの一緒に働くスタッフに対する感謝の念がより深まりました。この感謝の念を、社内から地域、世界へとつなげていきます。



地元三ヶ日地域の障がい者施設へ寄付を行いました



チャイルドスポンサーとありがとうカードを組み合わせることで、社内に感謝の念が深まりました



社内で書き損じハガキを回収。NPO法人テラ・ルネッサンス様よりお礼状をいただきました





【震災復興支援①「福島ひまわり里親プロジェクト」】

・会社として「福島ひまわり里親プロジェクト」に参加。毎年、お店の庭でこの種を使ったひまわりを育て、採れた種を福島へ送っています。また、種を商品とともにお客様に同梱し、お客様へもプロジェクトの参加を促しています。

◎「福島ひまわり里親プロジェクト」とは…

東日本大震災から2ヶ月後に始まったプロジェクト。ひまわりの花を全国で咲かせ、その種を福島に送り返し、雇用を生み、福島を元気に、そして何より震災を忘れずひまわりを通して絆を結び続けるプロジェクトです。

【震災復興支援②「ぶんぶんガチャガチャチャリティープロジェクト」】

・オリジナルの缶バッジ(全52種)を製作し、「ぶんぶんガチャガチャチャリティープロジェクト」として、店舗入口にオリジナル缶バッジの入った「ガチャガチャ」を設置しています。そして、ガチャガチャの売り上げの全額を東日本大震災復興支援に寄付しています。

【震災復興支援③「震災復興支援商品の活用」】

・通販の商品とともにお客様にお届けするニュースレターには、震災復興支援のために宮城県石巻の製紙工場で作られたモンテシオンという紙を使用しています。

<東日本大震災 ぶんぶんチャリティープロジェクト寄付金>

お買上金額の一部(平成23年4月～)

ぶんぶんストラップお買上金額合計(平成23年4月～平成24年1月～)

ぶんぶん缶バッジお買上金額合計(平成23年10月～平成24年1月～)

🔥合計 / 2,504,287 円

ぶんぶん缶バッジお買上金額合計+支援金(平成25年5月～平成26年6月～)

🔥合計 / 600,000 円

ぶんぶん缶バッジお買上金額合計(平成25年8月～平成26年7月～)

🔥合計 / 171,000 円

ぶんぶん缶バッジお買上金額合計(平成26年8月～平成27年7月～)

🔥合計 / 383,000 円

…以上の金額を含め、400万円以上の寄付をさせていただきました(平成28年8月現在)。

震災から6年が経ちましたが、これからも自分たちにできることをスタッフ一人一人、日々地道に尽くしていきます。また、プロジェクトに賛同いただけるお客様とも協力しながら、スタッフだけでなくお客様とも手を携え、想いを一つにして支援を続けていきたいと思っております。



毎年、夏になるとスタッフで店舗の庭に福島のひまわりの種を植え、ひまわりを育てています。お客様には咲き誇るひまわりを楽しんでいただきながら、このプロジェクトについても知っていただく取り組みを続けています。



実際に現地に訪れ、支援金をお渡しするとともに現地の様子を体験し、お客様に継続的に発信してまいりました。また、このプロジェクトにご協力くださり、種をお送りくださるお客様もいらっしゃいます。



季節ごとに、その季節に合った絵柄のバッジを展開し、お客様が楽しく継続的に関わられる工夫をしています。また、全種類のバッジを集めてチャリティーに多大な貢献をして下さったお客様には表彰状を送呈いたしました。

通販の商品とともにお届けするニュースレターには、震災復興支援商品である用紙を使用しています。





## 教室・実習・講演活動

### 【「採蜜教室」】

◎地元三ヶ日町に根ざし、創業82年を迎える長坂養蜂場。長年、養蜂業を営んでいるなかで、お客様や地域の皆さまへの感謝の想いと、年々衰退する養蜂業への理解を深めていただき、はちみつがミツバチからの貴重な恵みであることを知っていただく機会として採蜜教室を開催しています。特に、普段体験することが難しい採蜜体験を通じて、ミツバチの生態やはちみつが自然の恵みの奇跡であることを知っていただき、これからの日本を支える子どもたちに、その大切さを知って成長して欲しいという願いを込めた子ども向けイベントになっています。

### 【「はちみつソムリエ教室」】

◎「はちみつマイスター」の資格を取得したスタッフによる「はちみつソムリエ教室」。体験しながら「はちみつ」をより深く学ぶことで、日々の暮らしにはちみつを効果的に取り入れていただき、お客様の健康増進に貢献したいという想いで開催しています。

### 【地元中学校への講演】

◎毎年、地元の三ヶ日中学校へ社長が出向き、講演させていただいています。次代を支える中学生に、地域により愛着を持って地域のために一歩踏み出すきっかけになればという想いから、長坂養蜂場での事例を交えながら、働くことの意味や地域貢献の大切さについてお伝えしています。

### 【地元中学校からの実習受け入れ】

◎地元の三ヶ日中学校より、実習体験を常時受け入れしています。現場で働くだけでなく、大切にしている考え方や想いも伝えながら、短い期間のなかでも働くことや人や地域の役に立つことのやりがいを感じてもらえるよう、スタッフ全員で関わりを持って受け入れています。

### 【～地元企業として、養蜂業を営む企業としてできることを一歩ずつ～】

#### 創業の精神、ミッション

🔥 創業の精神 / 「感謝・報恩・三方よし」

🔥 ミッション / 「BEE HAPPY!!」

(ミツバチの恵みを通じてお客様の美と健康づくりのお役立ちをし、ぬくもりあふれる暮らしをお届けします)

のもと、地元企業として、養蜂業を営む企業としてできることを考えながら、教室・実習・講演などの形でも地域やお客様へ貢献できるよう努めています。



採蜜体験教室の様子が静岡新聞に掲載されました



はちみつソムリエ教室の様子が中日新聞に掲載されました



地元中学校からの実習体験



地元中学校での講演

